

特別支援教育総論

(2 単位)

専門 > 教育学部（全入学年度対象） > 課程共通科目

1 年、2 年、3 年、4 年 後期
週間授業藤岡 徹 (tfujioka@u-fukui.ac.jp、0776-27-8447 (2383)、総合
教職開発本部 2 階、木曜 1～2 限、実務経験：民間企業)笹原 未来 (sasahara@u-fukui.ac.jp、0776-27-9934(2550)、連
合教職開発本部 2 階、火曜 4 限)南雲 敏秀 (t-nagumo@u-fukui.ac.jp、0776-27-8732 (2542)、
総合教職開発本部 2 階、火曜 4 限、実務経験：学校等)

廣澤 愛子 (aiko-h@g.u-fukui.ac.jp)

■ナンバリングコード

05-CFE-102 教育学部 学校教育課程 / 課程コース共通科目（課程）
〔1 年次レベル〕

■授業概要

学校教育を中心とした障害全般にわたる自立支援、教育・医療・福祉の連携体制、障害の特性や支援方法、特別支援教育に関連の深い事項など、特別支援教育全般に関わる事項について、4 名の教員がオムニバス形式で講話する。

授業の連絡については、google classroom にて連絡をする。google classroom のクラスコードは「k34db4z」です。

■到達目標

特別支援教育やその周辺領域の知識を学び、それをもとに対象の方の特別な教育的ニーズを把握し、適切な支援や合理的配慮を考え出すことができる。

■授業内容

- 1 回 イントロダクション・特別支援教育について（担当：藤岡）
- 2 回 障害観の変遷と障害の捉え方（担当：笹原）
- 3 回 障害の重い子どもとのコミュニケーション（担当：笹原）
- 4 回 感覚重複障害のある子どもとのコミュニケーション（担当：笹原）
- 5 回 自閉スペクトラム症と注意欠如多動症の特性（担当：藤岡）
- 6 回 特別な教育的ニーズのあるお子さんの学校での生活（担当：藤岡）
- 7 回 限局性学習症（読み書き）の特性（担当：藤岡）
- 8 回 障害児のコミュニケーション支援（吃音を中心として）（担当：ゲスト講師）
- 9 回 限局性学習症（算数）の特性（担当：藤岡）
- 10 回 「特別支援教育」と「不登校」の接点（担当：廣澤）
- 11 回 特別支援教育における「支援」とは何か（担当：廣澤）
- 12 回 多様な子どもたち一人ひとりの学びを保障するために（担当：南雲）
- 13 回 障害のある子どもと学校教育 知的障害特別支援学校（担当：南雲）
- 14 回 障害のある子どもと学校教育 肢体不自由特別支援学校（担当：南雲）
- 15 回 小学校通常学級におけるインクルーシブ教育（担当：南雲）

■準備学習（予習・復習）等

- ・配付資料や参考図書等をもとに、参考図書をもとに、2 時間程度の予習・復習が望ましい。
- ・予習復習の際に不明な点について調べておくこと。

■授業形式

【授業形式】
講義

4 人の教員が分担して、配布した資料に基づいて、スライドやビデオを用いながら講義形式で行う。

■成績評価の方法

担当教員の授業における小レポートや参加状況等から総合的に評価する。

評価の占める割合の基準は、定期試験（レポート）60%、平常点 40%とする

■教科書・参考書等

教科書は使用せず、資料を配布する。参考書は随時、講義内で紹介する。

■その他注意事項等

授業の連絡については、google classroom にて連絡をする。google classroom のクラスコードは「k34db4z」です。

■実務経験のある教員としての授業内容

教育・医療・福祉領域で実務経験等のある教員 4 名が、障害のある方への支援や支援を行う際の留意点などを踏まえて講義を行う。
第 8 回目の「障害児のコミュニケーション支援（吃音を中心として）」については、実務経験のある教員として特別支援学校長を招き、講義を行っていただく予定です。

■キーワード

不登校、発達障害、コミュニケーション障害、盲・聾・重複、病虚弱、言語、広汎性発達障害、障害のある子どもと学校教育、知的障害、肢体不自由、インクルーシブ教育、自閉スペクトラム症、注意欠如多動症、限局性学習症、吃音、実務

■アクティブ・ラーニング

アクティブ・ラーニングの要素を含む科目

■授業形態

対面授業

■SDGs

1. 貧困をなくそう
3. すべての人に健康と福祉を
4. 質の高い教育をみんなに
10. 人や国の不平等をなくそう